

槽概要	数値
配置面積 (m2)	9.23
容量 (m3)	14.22
有効容量 (m3)	13.58
空隙率 (%)	95.5

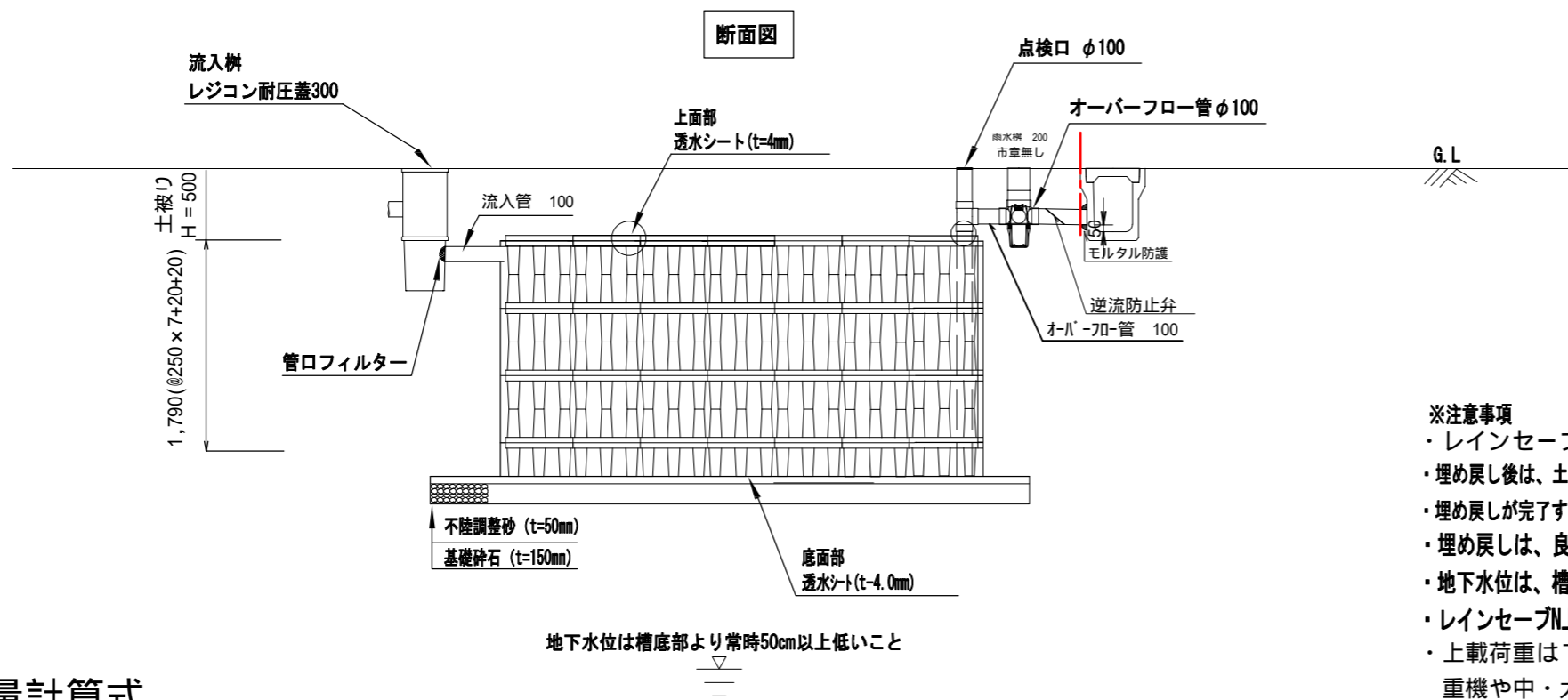
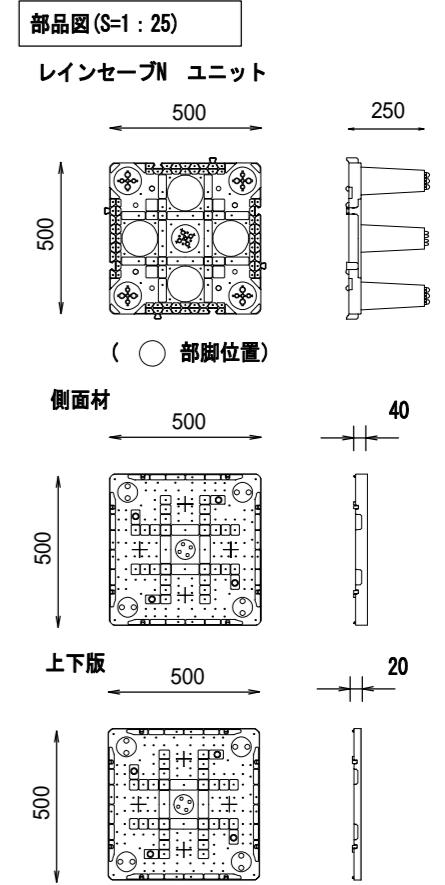
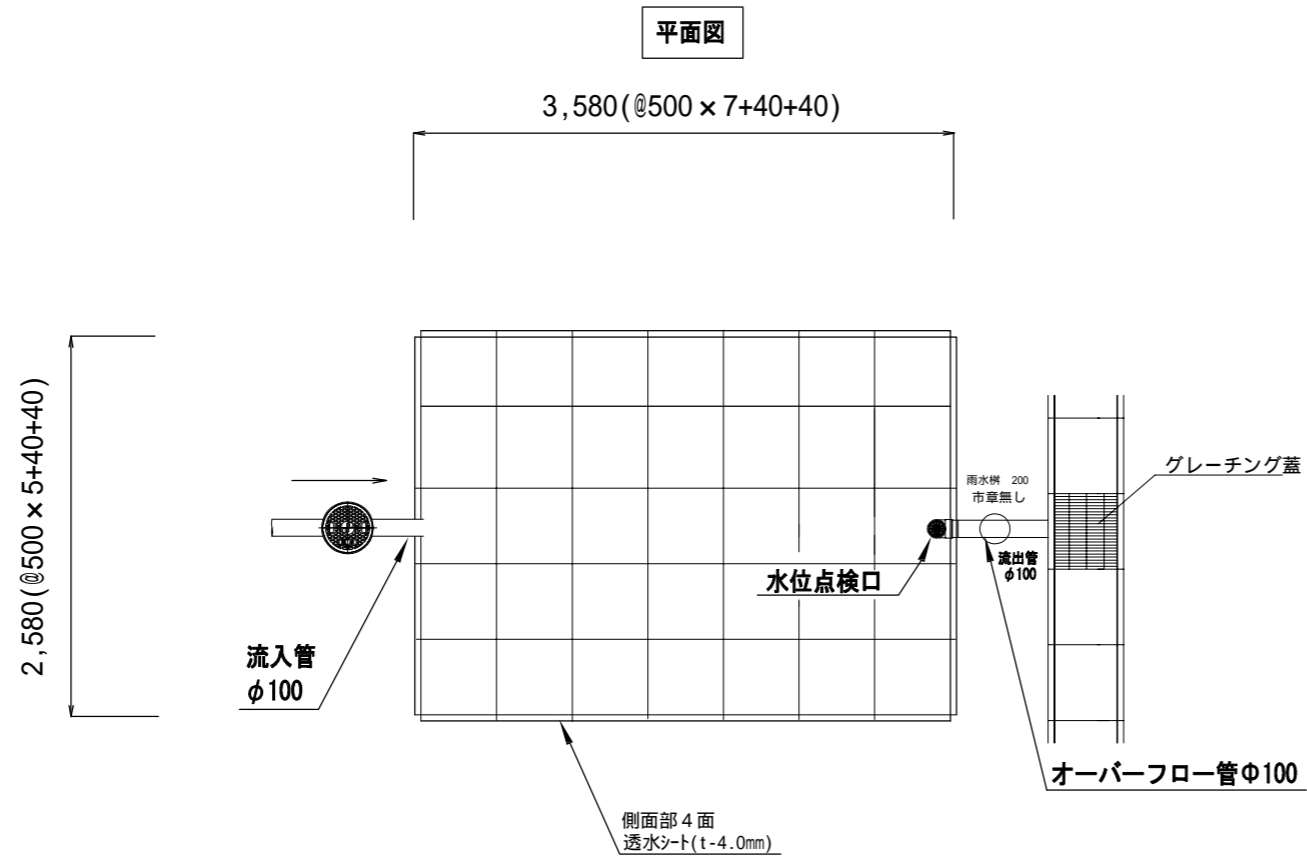
設置数 : 55

- ※注意事項
- ・レインセーブNは、建物基礎等の荷重の影響を受けないよう、建物から十分離してください。
  - ・埋め戻し後は、土被り荷重を含めた鉛直荷重を36kN/m2以下にしてください。
  - ・埋め戻しが完了するまでは、地下水や降雨による浮力の影響を受けないよう排水対策を行ってください。
  - ・埋め戻しは、良質土を用いて行い、偏荷重とならないよう4辺から均等に埋め戻してください。
  - ・地下水位は、槽底部より50cm以上低いものとします。
  - ・レインセーブN上部や周辺でのクレーン作業は行わないでください。
  - ・上載荷重はT-2 (普通乗用車程度) にて設計。施工中を含め槽の上部に重機や中・大型車が載らないこと。
  - ・最大埋設深度は、GLから槽底部まで2.5mです。

### 貯留量計算式

$$2.58\text{m} \times 3.58\text{m} \times 1.54\text{m} \times 0.955 = 13.58\text{m}^3$$

事業名	千葉市緑区高田町 造成工事	図面種別	雨水浸透槽構造図タイプA		事業主	マサキコーポレーション 株式会社	
事業区域	千葉市緑区高田町401番288、369	縮尺	A3=1/250	作成年月日	令和4年12月	図面番号	設計者氏名 株式会社 關クガテクニカル興業 小林 正和



槽概要	数値
配置面積 (m <sup>2</sup> )	9.23
容量 (m <sup>3</sup> )	16.53
有効容量 (m <sup>3</sup> )	15.78
空隙率 (%)	95.5

設置数 : 55

- ※注意事項**
- ・レインセーブNは、建物基礎等の荷重の影響を受けないよう、建物から十分離してください。
  - ・埋め戻し後は、土被り荷重を含めた鉛直荷重を36kN/m<sup>2</sup>以下にしてください。
  - ・埋め戻しが完了するまでは、地下水や降雨による浮力の影響を受けないよう排水対策を行ってください。
  - ・埋め戻しは、良質土を用いて行い、偏荷重とならないよう4辺から均等に埋め戻してください。
  - ・地下水位は、槽底部より50cm以上低いものとします。
  - ・レインセーブN上部や周辺でのクレーン作業は行わないでください。
  - ・上載荷重はT-2 (普通乗用車程度) にて設計。施工中を含め槽の上部に重機や中・大型車が載らないこと。
  - ・最大埋設深度は、G.Lから槽底部まで2.5mです。

**貯留量計算式**

$2.58\text{m} \times 3.58\text{m} \times 1.79\text{m} \times 0.955 = 15.78\text{m}^3$

事業名	千葉市緑区高田町 造成工事	図面種別	雨水浸透槽構造図タイプB	事業主	マサキコーポレーション 株式会社
事業区域	千葉市緑区高田町401番288、369	縮尺	A3=1/250	図面番号	設計者氏名 株式会社 關ヶ谷テクニカル興業 小林 正和
			作成年月	令和4年12月	